

オレンジ通信 Vol.⑧

佐々木まゆみ市議会活動レポート

2014年8月発行

発行元／仙台市議会公明党市議団 仙台市議会議員佐々木まゆみ
仙台市宮城野区幸町2-21-11 TEL022-707-7462 メールアドレス sasaki@sendai-komei.jp

皆様と共に どこまでも一緒に歩んで参ります!

東日本大震災から3年5ヶ月が経過しました。

今なお多くの方が仮設住宅での生活を送られてるのが現状です。また現在、復興公営住宅の申し込みを行っておりますが「希望したところに入居できるのだろうか」「新しい所でコミュニティーは作れるのか」等先行きへ不安の声を多く耳にします。

一方、本年11月にはあすと長町地区に、新市立病院が開院、来年春には高砂中央公園内に水族館がオープンと大きなプロジェクトが着実に進んでいます。又、3月14日～18日には第3回国連防災世界会議が開催され世界中から関係者が仙台に来られます。

ハード面での目に見える復興の裏で、今後の住まいを始め生活のことで悩んでいる方がたくさんいらっしゃるのも現状です。

これからも、皆様の声をお聞きし共に考え、どこまでも一緒に歩んで参ります。



新仙台市立病院



新仙台市立病院ヘリポートにて

佐々木まゆみ

- 佐々木まゆみ プロフィール 昭和39年7月仙台市生まれ。平成23年仙台市議会議員初当選（宮城野選挙区）。
【仙台市議会】健康福祉常任委員会副委員長。エネルギー政策調査特別委員。広報委員。
【公明党】宮城野西支部支部長。



市営住宅等の住環境整備について

【佐々木まゆみ議員】今ある市営住宅の戸数が果たして、市民のニーズに応えられているのか、また、老朽化した市営住宅の建替や大規模修繕の時期についても、検討されている状況を市民に指し示す時期にきていると思うがどうか。市営住宅の管理業務については市建設公社に委託しているが、入居者の求めに応じた管理がしっかりとなされるのか。

【都市整備局長】復興公営住宅の入居管理は既存の市営住宅の入居管理を行っている市建設公社に業務を委託している。公社では、適切に入居者への対応を行うため、人員を増やすなど体制を整えているが、入居者からの相談などに十分に対応するよう、今後とも指導してまいりたい。

市営住宅の定期募集の在り方について

【佐々木まゆみ議員】平成25年度は、募集戸数338戸に対し申込者数は4107人、倍率は12.15倍となっている。ここ10年の平均倍率は15倍となっている。この6月に募集した戸数は119戸。宮城野区の幸町高層住宅や鶴ヶ谷第一、第二住宅の整備によって、昨年の同時期と比べると約2倍に供給を増やすことができたのだが、これに対する応募状況は、1,300人を超え、倍率は11倍を超える状況だった。

東日本大震災で全壊となった幸町高層住宅も新築されたことで、鶴ヶ谷住宅などこれまで仮住まいされていた所が空室となり、一時的にでも供給できるのではないかとと思われる。

市営住宅の入居募集は6月、9月、12月、3月で、年4回となっており、県営住宅の募集時期とまったく同じとなっている。そこで、市の募集月を県の募集月と異なる月にしてはどうか。少しでも、入居を求める市民のニーズに応える工夫があってほしいと思うがどうか。

【都市整備局長】現在の市営住宅の募集については、年4回の定期募集に加え、7月に母子父子世帯対象募集、1月に子育て世帯対象募集を行っている。今後の募集のあり方については、ご提案の点も含め、現在策定を進めている基本方針において、検討してまいりたい。

鶴ヶ谷第一市営住宅団地再整備事業について

【佐々木まゆみ議員】この事業は、老朽化した鶴ヶ谷市営住宅の建替えにあわせて、これまで以上に良好な居住空間を確保しようと、建物を高層化して活用できる土地を増やし、住宅はもとより、市民センターや高齢者や障がい者の生活を支援する福祉施設を整備するものである。これによって周辺への民間施設の進出も誘導できる、との期待がもたれている。

第四工区207戸の建設が待たれるところだが、計画の進捗状況と入居募集の具体的な時期について伺う。

併せて、鶴ヶ谷地域は高齢化率が高く、若い世代や子育て世帯の方々とお年寄りとのコミュニティが図りやすい工夫と募集の際の入居優遇策があってもよいかと思うがどうか。

【都市整備局長】現在、各住戸タイプの割合等について検討を行っており、年度内の契約締結に向けて準備を進めている。完成時期は、平成28年度を予定しているが、具体的な募集時期については現段階においては未定である。また、若い世代や子育て世帯など、様々な世帯が入居することにより、世代間の交流やコミュニティの形成が促進されるものと認識しており、今後、多様な住戸タイプの整備や、建物内の交流スペースの確保を図るとともに、募集にあたっては、子育て世帯や母子・父子世帯を対象とする募集枠を増やすなど、検討を進めてまいりたい。

復興公営住宅の駐車場の適正数について

【佐々木まゆみ議員】整備戸数に対して駐車場の整備台数が少ない個所がいくつもある。近隣の民間駐車料金を調査した上で、復興公営住宅の駐車料金は設定していると聞かすが、復興公営住宅間での格差はいないかと思うがどうか。

【都市整備局長】復興公営住宅の駐車場については、地域や敷地の条件、想定される入居者の世帯属性、地下鉄やJR線など交通の利便性などを考慮して台数を

決めるとともに、駐車料金については、整備費用や管理費用などを勘案し、周辺の民間駐車場料金以下となるように定めていることから、団地による違いが生じているところである。

駐車台数や料金については、これまでも説明会や相談会等において周知を図ってきたが、今年度の募集においては、入居募集の案内に、よりわかりやすく記載するほか、被災者の皆様に的確な情報が伝わるよう、丁寧な対応に努めてまいりたい。

学校施設における暑さ対策について

【佐々木まゆみ議員】仙台市立の小中学校では、保健室や音楽室等いわゆる特別教室にはエアコンが整備されて久しい状況となった。一方で、普通教室へのエアコン導入については、なかなか実現の道筋がみえてこない。普通教室全てに整備するのでは多額の費用を要するので、台数を極力制限しながらでも整備を検討すべき時期にきているのではないかと考えている。

併せて、エアコン整備が難しいとすれば、以前同僚議員が提案した「ミスト・シャワー」「緑のカーテン」「打ち水」の取り組み・導入状況はどのようになっているのか。

【教育長】普通教室へのエアコン整備については、整備箇所を限定したとしても多額の整備費用を要することから、困難であると考えている。現在は、年次計画に基づき進めている保健室への整備を着実に実施して参りたい。また昨年「緑のカーテン」は小学校54校、中学校20校で取り組んでいる。「ミストシャワー」や「打ち水」については、その涼しさを感じる範囲は限定的であり、設置場所によっては期待する効果が得られないなど、未だ解決すべき課題が多いものと考えている。

ドメスティック・バイオレンス(DV)への被害者支援体制について

【佐々木まゆみ議員】DVの被害に遭われた方が、その場から一時的には避難できたとしても、生活や仕事、親族との付き合いなど、先行きの不安があまりにも大きいことから、結局は泣き寝入りするケースが多く見られる。本市では、昨年3月に「配偶者暴力相談支援センター事業」を開始した。当局としてこれまでの相談等の状況についてどのような所見を持っているのか。

【奥山市長】女性が安心して地域や社会で力を発揮していくためには、DVなど女性に対する暴力の根絶は、まさに喫緊の課題であると認識している。

昨年3月より事業を開始した「配偶者暴力相談支援センター」では、平成25年度は2千件を超えるご相談となり、この案件に関しての、大変大きな相談の必要性を改めて感じたところである。

今年の4月からは、宮城県警においてDV対策の専任部署を開設されたところであり、非常に心強く思っている。こうした専門機関や支援団体等とさらに一層連携を深め、相談事案の緊急性やお子さまの有無などの状況に適切に対応しながら、被害を受けられた方へのきめ細かな支援づくりに努めたい。

水道料金等の減免申請の支援について

【佐々木まゆみ議員】本市では非課税世帯や生活保護世帯に対し、申請により水道料金の減額や免除をしている。

申請についての効力は一年限りのため、毎年申請を繰り返す必要がある。ところが、申請の受付は一部の方を除き直接の提出に限られ、その窓口も、非課税世帯の方々は、太白区の水道局内の南料金センター、泉区役所内の北料金センター、仙台市役所料金センターの3ヶ所のみとなっている。一方、生活保護世帯の方々の場合は保護費を受給している区役所での申請となっているが、いずれの場合にも直接、窓口まで持って行かなければならず、郵送での申請は受け付けないとのこと。ご高齢の方や障がいをお持ちの方もいらっしゃる中で、せめて非課税世帯の方々については、よその区まで足を運ばなくても済むように、各区でまかなえる様に窓口を拡充するとか、更には現況届のように郵送での継続申請を認めるなど、市民の皆様への寄り添うような対応を急ぐべきと思うがどうか。

【水道事業管理者】減免申請の手続きについては、生活保護世帯の年度更新手続の省略や、前年度減免適用者への案内はがきの送付など、様々な改善を図っているところである。

窓口での直接申請については、申請書類の記載不備等にも迅速に対応し、速やかに減免措置を行えるような配慮で行っている。各区役所への窓口設置については、人員や設備、スペース等の課題があっても難しいところではあるが、更なるお客さまサービスの向上に向けて、そういった方々が水道局の窓口で足を運ばずとも対応できるよう、更新申請の郵送受付について検討を進めてまいりたい。



宮城野区納涼名刺交換会 (7月29日)



地域の夏祭りに参加



仙台市政施行
125周年記念交換会
(7月7日)

仮設住宅アンケート
調査 (7月4日)



新仙台市立病院に併設される
仙台市夜間休日こども急病
診療所



カーブミラーの設置
(燕沢に2基設置)